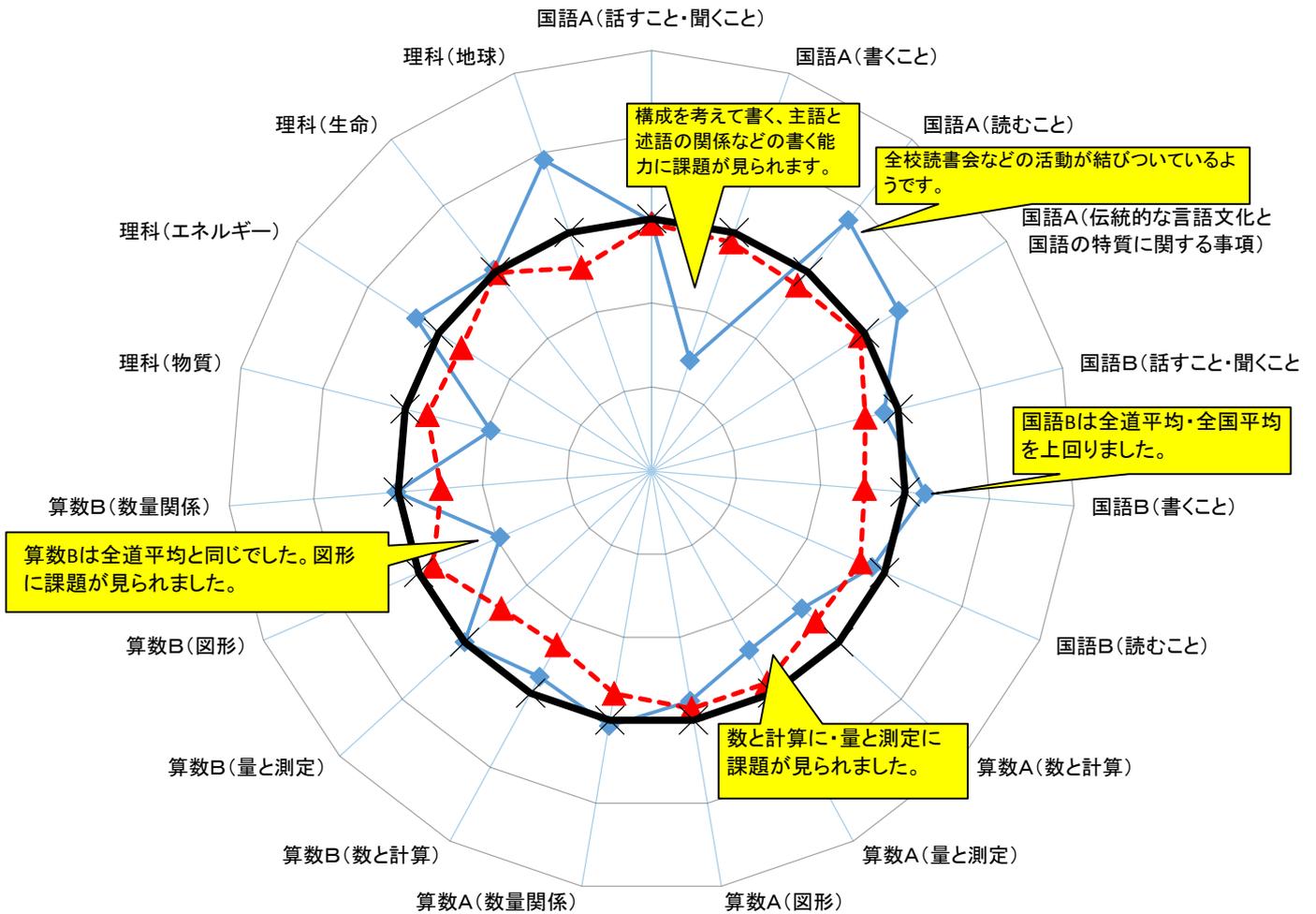
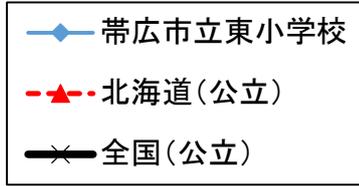


全国学力・学習状況調査の結果



国語A 主として「知識」に関する問題

図書館への行き方の説明をする。物語を書くときの構成の工夫の説明をする。感想を書いた文から、改善点を探す。物語を読み、心に残った一文を選んだ理由を説明する。文と文のつながりを直す。慣用句、漢字、敬語などの問題が出題されました。

〈本校児童の傾向〉

- 平均得点では全国・全道の正答率を上回っています。
- 文章の読み取りが得意な反面、書くことについては課題が見られます。
- 漢字や慣用句、敬語などはしっかり理解できています。

国語B 主として「活用」に関する問題

話し合いの場面で、発言の意図として適切なものを選択する問題、文章全体の構成の効果を考える問題、目的に応じて複数の本や文章などを選んで読むなどの問題が出題されました。

〈本校児童の傾向〉

- 全道平均正答率を上回りましたが、全国平均はわずかに下回りました。
- 文意に沿って理由を考えることに課題が見られました。

算数A 主として「知識」に関する問題

基本的な計算の能力を見る問題、混み具合(密度)を比べる問題、180度より大きい角を求める問題・直径・円周・円周率の関係などの問題が出題されました。

〈本校児童の傾向〉

- 全国・全道の平均正答率を下回りました。
- 量と測定の領域では基礎力向上の成果が見られ、「数と計算」「図形」の領域では課題が見られました。
- 小数のわり算の意味の理解などに課題が見られました。

算数B 主として「活用」に関する問題

図形を敷き詰める問題、玉入れゲームを数理的に処理する問題、アンケートの結果を解釈し表現・判断する問題、九九の表を理論的に考察する問題、輪飾りづくりに関わる情報の解釈と根拠の説明の問題などが出題されました。

〈本校児童の傾向〉

- 全国平均正答率を下回りましたが、全道平均と全く同じ結果となりました。
- 図形の問題では、若干無回答が見られました。
- 昨年に比べ、全国との差は縮まっています。

理科

生命に関する問題、地球に関する問題、エネルギーに関する問題、物質に関する問題が出題されました。知識に関わる問題は3問、活用に関する問題は13問でした。

〈本校児童の傾向〉

- 全道平均正答率を上回りました。全国平均正答率については、わずかに下回りましたが、ほぼ同じ結果となりました。
- 全道・全国と同様に、記述式の問題に対しては課題が見られました。

児童質問紙【生活習慣や学習環境に関する調査】から

(1)生活習慣

朝食については、意識が高い傾向が見られます。就寝時刻については不規則な児童も見られます。自尊心の高まりが、はっきりと見られるようになってきました。学校のきまりを守る意識については低めの傾向が見られました。

(2)家庭学習

宿題をしていない児童の割合が高い傾向が見られます。家庭での学習時間、読書時間の意識は全国と同様でした。

(3)地域・社会に関する興味関心

新聞を読んでいる、地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがあるか、という問いには、全道・全国平均より当てはまると答えた児童の割合が多い傾向が見られました。一方、地域社会などでボランティア活動に参加したことがあるか、という問いには、全道・全国よりも当てはまると答えた児童の割合は低い傾向が見られました。

これらの結果を受け、学校では以下の点を引き続き大切にしていきたいと考えます。

- 基礎的、基本的な知識、技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。
- 自分の考えや思いをまとめ、説明できるように指導を継続します。
- 保護者の理解、協力のもと自学自習の態度や学習習慣の確立、学習意欲の向上に努めていきます。